

完了報告書（平成 23 年度）

提出者 越智 正樹

提出年月日 2012 年 3 月 31 日

【プロジェクト名】

和文：災害復興 50 年の山村社会再編における各種コミュニティの質的転換

英文：Fifty years of reconstruction of an upland village: The qualitative conversions of emerging communities after a great disaster

【メンバー構成】

研究代表者：越智正樹

幹事：同上

メンバー：越智正樹、平井芽阿里、山本達也、Steven McGreevy

【ねらいと目的】（600 字程度）

大規模災害から 50 年を迎える山村を対象とし、復興の過程で発生した各種コミュニティに焦点を当て、それらがいかに、地域社会再統合と関連して親密性と公共性を転換してきたかを分析することが本研究のねらいである。長野県下伊那郡大鹿村は、昭和 36 年梅雨前線豪雨によって、「死の村と化した」と言われるほど甚大な被害を受けた。わけても衝撃的だったのが、約 40 名の村民を生き埋めにした大西山の大崩落である。また、河川氾濫の被害が大きかった村北部では、121 世帯が村外への集団移住を余儀なくされた。災害後に防災ダムを建設するために全戸移住させられた集落もある。この災害を契機に人口凋落の一途を辿る一方、80 年代からは全国的なヒッピー運動において注目され、多くの都市出身者が転入した。その一部は現在も居住しており、福祉コミュニティの中核になるなどしている。また大西山崩落跡地では、桜を植樹する活動が村民の間で始まり、後に公園となってアメニティと鎮魂の場所として村全体で共有されている。この、被災山村復興という 1 つの出来事に含まれる 3 種のコミュニティ——桜植樹と公園化の集団的活動、I ターン者のネットワーク、集団移出した人々の村外集団形成——について、その生成と変容を明らかにすることが本研究の目的である。

【活動の記録】

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等

調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等

その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

2011 年 6 月 28～29 日（越智）：災害 50 周年式典の記録（下伊那郡大鹿村）

2011 年 8 月 30～9 月 6 日（越智、平井）：被災後の崩落地や農地の復興に関する聞き取りおよび資料調査（下伊那郡大鹿村）、および集団移出者の移出後集団形成に関する聞き取り調査（伊那市）

2011 年 11 月 29～12 月 5 日（山本）：I ターン者の生活史に関する聞き取り調査（下伊那郡大鹿村）

【成果の概要】（800 字程度）

まず、桜植樹と公園化の集団的活動について、関係者への聞き取り結果ならびに史料に基づき分析した。そのプロセスを要約すると、(1)多元的な<私>の林立→(2)多元的な<私>および<公>を緩やかに包む<共>→(3)<公>と<私>の直接的せめぎ合いが<共>を包み込む→(4)<共>の一表現だった<私>の1つが<公>と直結し、そこから新たな<共>が発生していく、と整理されるものであった。

次に集団移出した人々の村外集団形成について、村外移出者の民俗宗教に着目し、故郷との宗教的連帯を明らかにした。村北部の北川集落は災害後、集団移出により消滅した。移出者らは自然発生的な集まりを形成し、それはやがて災害以前に北川を離れた人々も包括して「北川郷友会」となった。同会は様々な葛藤を経つつ、集落跡地に祀られる念力不動尊の修復・管理などを行ってきた。北川出身者は現在でも年に一度集まり、参拝を行っている。

最後に、I ターン者（いわゆるヒッピー）のネットワークについて、当該者たちへの聞き取り調査から明らかにした。かれらの第一波が転入した 80 年前後、過疎化に直面する村の人々は歓迎ムードであった。が、かれらの生活スタイルは間もなく異端視された。かれらは「お山の衆」などとともに揶揄されながらも、ニューエイジの後継者らと世界規模で結びつきつつ、村の中で村民としての自分たちの居場所を切り開き続けている。

以上のように本研究は、新しい村統合のシンボルたる場所の構築、復興過程で消滅した集落に関わる村内外横断的な民俗宗教実践、人口凋落後の村民集合を構成する I ターン者たちのやはり領域横断的な生活実践、を分析することを通じて、同時多発的な公・私の相互の織り込みが、大災害後の山村社会の再編を構成してきたことを明らかにした。

【通信欄】

（研究代表者記入）

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input checked="" type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	600(千円)	実績額



移住者主催の味噌づくりパーティ



旧北川集落の念力不動尊



被災崩落跡の台地公園